

2025年2月27日
日本郵便株式会社

石川県加賀市で貨客混載実証事業を開始

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也／以下、「日本郵便」）は、2025年3月より、石川県加賀市（以下、「加賀市」）においてライドシェアドライバーによる貨客混載の実証事業を開始いたします。

【背景、実証概要など】

加賀市では、2024年3月の北陸新幹線延伸を前に、観光客の増加による二次交通の不足に備え、同年3月12日にUberアプリを使った公共ライドシェアの本格運行を開始しました。運行開始後、地元住民および新幹線を利用する観光客への認知向上施策を実施し、ライドシェアの配車件数は順調に増加しています。しかし、時間帯や季節によって需要と供給のバランスが不安定であり、特に平日昼間や観光客が少ない季節には、ライドシェアドライバーが長時間待機する状況が発生していました。

今回の取り組みにより、ライドシェアドライバーが乗客の配車リクエストを待つ間に「ゆうパック」を配達できるようになります。これにより、以下のような効果が期待されます。

- ・ライドシェアドライバーの収入向上
配車リクエストが入らない時間帯でも、ゆうパックの配達によって追加収入を得られる。
- ・ライドシェア供給の安定化
待機時間の有効活用により、ドライバーのオンライン時間が増加し、ライドシェアの供給が安定する。
- ・日本郵便の配達リソースの確保
ライドシェアドライバーの有効時間活用により、ゆうパック配達リソース確保を図る。

本事業は、貨客混載の新たな可能性を示す事例となります。本事業をモデルケースとして、全国の地域交通の課題解決に向けた貢献について検証してまいります。

以 上